

## 卒業論文作成と学生生活を振り返って

### 1. 卒論題名

日本の SRI が抱える課題と課題に対するアプローチ方法  
—持続可能な社会を創り出すために—

### 2. SRI を選んだ動機・理由

「ビジネスと社会福祉、企業と社会」の関心に興味があった。



本（社会的企業に関する）・永田先生・NPOバンク・社会起業家などとの出会い



社会的責任投資（SRI）を知る



「SRI は持続可能な社会を創り出す根源と成り得るはず（仮説）なのに、なぜ日本で拡大しないのか」  
「仮説自体が間違っているのか」



卒論がよい機会だ！

### 3. 卒論で主張したかったこと

- ① SRI が持続可能な社会を創り出す可能性の高さ
- ② 日本の SRI が劣っていること、抱える課題、課題へのアプローチ方法
- ③ 最終的な目的は SRI を伝えることで、持続可能な社会を創り出す切掛けを提供すること
- ④ 個人の意識が社会を創り出していること

### 4. 卒論作成の苦労

- ・ SRI は新しい学問領域であるため、データ収集に苦労した
- ・ 仮説の破綻（詳細なデータの収集、論文の構成や筋道を何度も検証した方がいい）
- ・ 後回しにすると必ずツケがくる

### 5. 卒論を書きあげての感想

- ・ 大した論文を書けなかった
- ・ 満足のいく論文を書くためには、それなりの努力と時間を費やす必要性を痛感した
- ・ 好きな分野を見つけ出し、前向きに取り組めたことは良かったと思う

### 6. 大学 4 年間の学びを振り返って

「出会いを大切に」

僕の卒業論文の流れと内容について。大学4年間の学びを振り返って、お話ししたいと思います。僕の卒業論文の題名は「社会的責任投資(SRI)」です。初めて聴いた方が多いと思いますので説明したいと思います。本の引用をすると、SRIとは「社会に対する責任を果たしている企業に投資する」です。よくわかったような、わからないような感じだと思いますが。この中で株を自分で持っている方いらっしゃいますか。一人くらいですか。いないですか。おじいちゃんとか、お父さんは持っていると思いますが。一般的な投資の方法として企業を財務的に判断する。経営状態がどうかと、この先、優良か。もう悪いから株を売ろうかと判断しますが、それに対して企業が社会的、環境にも責任を果たしているかを鑑みて投資することを「SRI」と言うんです。これは新しい考え方なので知っていただけたら、うれしいなと思います。

僕としては、SRIを説明することが今日の発表の意味だったので、あとは惰性でいきたいと思います。SRIを選んだ理由として、僕は鹿児島出身で、山本君は香川出身で「限界集落」についてやったように、地域出身の人は郷土愛が強いので、僕もそれなりに郷土愛があって、地域社会に貢献できる方法は何かないか、働く上で、そういうことをうまくできないかと常々考えていたので、ビジネスと社会福祉、企業と社会の関心に興味がありました。本とか先生の講義とか、NPOバンク、社会起業家の人との出会いなどがありました。NPOバンク、社会起業家については説明しないといけないんですが、それはどこかで習うと思うので、その時に学んでください。興味のある方は本も出ているので読んでください。その時にSRIを知って「この仮説が日本でなぜ拡大しないのか、仮説自体が間違っているのか」という疑問が生まれました。卒業論文が、いい機会だからこれを書こうと思いました。

主張したかったことですが、1、2番は卒業論文の意義とか裏付けなので、3番目に、最終的な目的はSRIを伝えることで、持続可能な社会を創り出すきっかけを提供すること。さっきお話ししたことにも意味があると思っています。最終的には個人の意識が社会を創り出していることも伝えたいと考えています。

卒論作成の苦勞。SRIは結構、新しい領域で、新しい領域だと、データ収集にすごく苦勞します。日本のSRIが少なかったり、アメリカのSRIやイギリスのSRIについて日本語訳されていたりするものが、あまりなかったりするもので、すごく苦勞しました。仮説をしっかり立てないと、どんどん破綻して行って、仮説の破綻を何回も繰り返すと大変になるので、仮説をしっかり立てないといけないのはあたりまえで、それをするためには詳細なデータ、論文の構成を何回も考えることが必要だと思いました。論文の構成を考えたり、筋道を立てることは初めてなので、先生方が手伝ってくれるので、自分から求めて「お願いします」という感じでいけば、大丈夫です。これさえしっかりすれば、あとは書いただけなので大丈夫だと思います。何でも後回しにすると、必ずツケが回ってきます。それが卒業論文に顕著に現れると思うので、後回しにする性格の人は、今から気をつけておいた方がいいかもしれません。

書き終わっての感想ですが、たいした論文は書けなくて、これは時間もあるし、真剣に取り組んでないこともあるんですが、16000字って、長く感じるかもしれませんが、論文としては短い分量だと思います。そこに凝縮するのは難しいことなのではないかと思います。16000字は結構短いので。いろいろ考えて、一杯頭の中でデータを集めてから整理してから書くと、いいかもしれません。そういう難しさと、単純に書けない難しさは、違うと思うので、できればいっぱい書いて書けない難しさをした方がいいんじゃないかなと。僕ができなかったことを、したらいいんじゃないかなと思います。

自分で好きな分野を見つけて、SRIを卒論に取り組むことができたので、前向きに取り組めたことはよかったと思います。嫌々取り組んでいる人もいたし、面倒くさくなって後回しにする傾向が強い人もいるので、好きな分野を早目に見つけることがいいんじゃないかと思います。

これは4年間の学びにもつながって、他の方も言っていたと思いますが、興味関心を広げること、出会いを大切にすることが、こういう好きな分野を見つけ出すことにつながると思うので、残りの生活を頑張ってください。終わります。

# 日本の SRI が抱える課題と課題に対するアプローチ方法

—持続可能な社会を創り出すために—

19062017

平山 真史

<キーワード> 「社会的責任投資(SRI)」「企業の社会的責任(CSR)」「年金」

## <梗概>

本論文は企業の社会への関わり方について、投資活動の一環として近年注目されている、社会的責任投資（Socially Responsible Investment：SRI）という観点から考察する。

SRI とは「社会に対する責任を果たしている企業に投資する」ことである。つまり SRI は、市民の想いを株式市場を介し、企業に反映させる機能を有している。そのため、市民が企業をコントロールする力は強いと示唆される。しかし、この SRI は 19980 年代からアメリカとイギリスで大きな成長を遂げているが、日本の SRI 市場は未熟である。

そこで本論文は、この日本の SRI が未熟である点に研究の視点を置き、アメリカ・イギリスとの国際比較によって、日本の SRI が抱える課題を抽出することを目指す。そして、その課題へのアプローチ方法を提示したいと考える。

## <目次>

序章	第3章 SRI 発展途上国：日本の現状と課題
1. 問題の所在	1. SRI 市場規模の成長率
2. 本論文の目的と視角	2. SRI 資産総額の株式市場に占める比率
第1章 SRI とは何か？	3. 大枠の課題と小枠の課題
1. 概要	4. 小枠の課題
2. SRI の 3 区分	第4章 課題へのアプローチ方法
(1) ソーシャル・スクリーン	1. 課題へのアプローチの視点
(2) 株主行動	2. 課題(1)情報インフラの整備に向けたアプローチ方法
(3) ソーシャル・インベスメント/ ファイナンス	(1) 事業法人等へのアプローチ方法
3. SRI の社会的意義	(2) 海外住居者・個人投資家へのアプローチ方法
第2章 SRI 先進国の現状	3. 課題(2)SRI に導く公的な作用へのアプローチ
1. アメリカ	(1) アプローチ方法—年金法の改正
(1) 特徴—SRI 市場規模の成長率	
(2) SRI 市場規模変遷の因果関係	
(3) SRI 市場成長の背景	
2. イギリス	第5章 提言
(1) 特徴—SRI 資産総額の株式市場に占める比率の高さ	
(2) 株式市場に占める比率が高い背景	